

南三陸へ足運んで

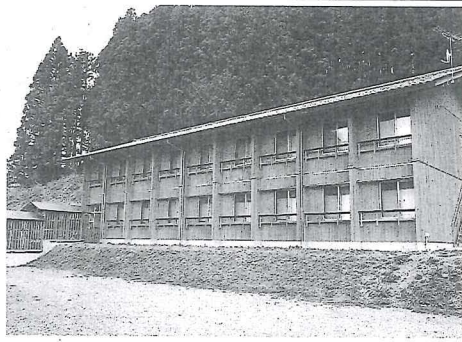
受付休止「未来の宿泊券」CF開始

コロナ対策

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、南三陸町入谷の宿泊施設「南三陸まなびの里いりやど」を運営する一般社団法人・南三陸研修センターが、出資者への特典に「未来の宿泊券」を贈るクラウドファンディングを始めた。相次ぐ宿泊キャンセルなどにより、施設は1日から予約の受け付けを当面休止。宿泊券は、施設の受け入れ再開後、東日本震災から10年目を迎えた南三陸町に再び足を運んでほしいとの願いを込めた返礼サービスで、開始後の反応は上々だ。

再開後から利用可能

2013年8月にされるケースが多く、オープンした「いりや」19年は前年を大きく上どは、大学や企業な、回る年間8500人以上、団体の研修で利用 上が宿泊した。



特典の宿泊利用ができるいりやどアネックス

しかし、新型コロナの影響で今年2月下旬以降、約17000人分の宿泊キャンセルが相次ぎ、約1400万円の損失が発生。営業の見通しが立たないことに加え、スタッフや宿泊客の感染リスクが高まっている状況を踏まえ、今月1日から予約受け付けを休止することを決定した。

「IRE」が、新型コロナを活用した。ナの影響を受ける宿泊 特典は出資千円以上施設などをサポートす に対して贈られ、金額るため設けたプログラム」とに12種類を用意。

メインに設けたのが、き、震災の絶望を乗り越え、南三陸町をいつかまた訪れてもらいたい。5千円からの出資が対象となり、6月1日から来年3月末までを期間に、16年に増築した新館のいりやどアネックスに宿泊できる特典だ。

同センターで企画広報を担当する浅野拓也さん(32)は「より深刻な影響を受けている事業所がたさんある中でプロジェクトを始めることに迷いもあつた。でも、新型コロナの感染拡大が落ち着

クラウドファンディングは、先行きの不透明さへの不安から、休業中の運転資金を調達するため、3日に開始。クラウドファンディングプラットフォーム「CAMPF」

クラウドファンディングは、先行きの不透明さへの不安から、休業中の運転資金を調達するため、3日に開始。クラウドファンディングプラットフォーム「CAMPF」

クラウドファンディングは、先行きの不透明さへの不安から、休業中の運転資金を調達するため、3日に開始。クラウドファンディングプラットフォーム「CAMPF」

クラウドファンディングは、先行きの不透明さへの不安から、休業中の運転資金を調達するため、3日に開始。クラウドファンディングプラットフォーム「CAMPF」

クラウドファンディングは、先行きの不透明さへの不安から、休業中の運転資金を調達するため、3日に開始。クラウドファンディングプラットフォーム「CAMPF」